

**平成29(2017)年度**

**事業計画**

**学校法人 工学院大学**

## 基本方針と重点施策

### 教育・研究改革による 特色ある学園の価値の創造

#### <重点施策>

- ・研究ブランディング事業と学生プロジェクトを核とした  
ブランドの強化
- ・教育の質保証体制の構築による教育改革の推進

### 業務改善・組織改革による 経営資源の有効活用

#### <重点施策>

- ・キャンパスおよび施設・設備の有効利用の推進
- ・ICTの活用による事務の簡素化・合理化・標準化

# 2017年度事業計画 基本方針・重点施策

## < I. 教育 >

### ◆大学・大学院

#### 1. 組織的・体系的教育の実施（教育改革）

- 1.1 質保証体制の構築による教育改革の推進
- 1.2 教員の教育力の向上（FDの推進）

#### 2. 学生支援・キャリア支援・就職支援の充実

- 2.1 グローバル化を見据えたキャリア教育のさらなる充実
- 2.2 学生プロジェクト・課外活動の奨励と支援
- 2.3 障がいのある学生支援体制の整備
- 2.4 男女共同参画社会に向けた組織的取り組み

#### [重要経営指標]

- (1) 2018年度入試 全学科の偏差値 維持または1ポイント以上の上昇  
(2014年度から2018年度までで5ポイント上昇/2018年度全学科偏差値50以上)
- (2) 2018年度入試 のべ志願者数20,000名以上
- (3) 2017年度入学生 初年次全平均GPA 0.05ポイント上昇
- (4) 2017年度卒業生 実就職率 90%以上  
大学院（他大学院含む）進学率 25%以上  
※実就職率＝内定者数／（卒業・修了者数－大学院進学者数）

### ◆附属中高

#### 1. 「21世紀型教育」の実現（教育改革）

- 1.1 アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーに基づいた教育の展開
- 1.2 全教科における双方向型の授業（PBL・PIL）の深化
- 1.3 中学校ハイブリッドクラスにおける世界標準を取り入れた授業の充実
- 1.4 高校「ハイブリッドインターナショナルコース」の新設

#### 2. 教員の教育力向上

- 2.1 教員人事制度を活用した学習指導（受験指導も含む）、学年・学級運営の強化
- 2.2 教務のリーダーシップ確立による組織的なマネジメントレベルの向上
- 2.3 教員の双方向授業（PBL・PIL）における教育力の向上

#### 3. 生徒の学力向上と学習環境の整備

- 3.1 21世紀型教育に相応しい教育環境の整備
- 3.2 「思考コード」による知識論理型思考から論理創造型思考への教育の質の転換
- 3.3 英語4技能（話す・書く・読む・聞く）指導の充実
- 3.4 高校新設の「ハイブリッドインターナショナルコース」におけるSTEM（科学・技術・工学・数学）・中国語・哲学授業の実施

#### [重要経営指標]

- (1) 2018年度ハイブリッドクラスの志願者数  
600アクセス⇒360出願⇒300名受験⇒200名合格⇒105名入学
- (2) 2017年度卒業生 工学院大学内部進学者数80名以上
- (3) 2017年度卒業生 合格者数  
国立大学 10名以上  
難関私立大学（早稲田、慶応、上智、東京理科、ICU）10名以上  
GMARCH 30名以上  
※「改革型学校」として偏差値教育から脱却をおこなう  
※中期的な視点でグローバル進路指導への転換を図る

### ◆大学・大学院・附属中高連携

#### 1. 中高大院一貫教育体制の構築

- 1.1 一貫教育体制の長期的な方針の策定
- 1.2 附属中高教諭と大学教員の相互交流の促進
- 1.3 入試内部進学者の選抜方法・入学前教育方法の整理

## <Ⅱ. 研究>

### 1. 先鋭的な研究体制の確立

- 1.1 私立大学研究ブランディング事業に対応した研究の充実
- 1.2 科研費の申請、外部資金導入の積極的推進
- 1.3 地域・産業界との連携の推進
- 1.4 研究成果の発信力の強化

### [重要経営指標]

- (1) 外部研究資金：2018年度科研費申請率 75%以上、
- (2) 査読付論文採択件数 250件うち新規Scopus認定論文数230件
- (3) 職務発明による特許出願 15件 研究成果の技術移転 10件
- (4) 研究成果のメディア掲載件数 250件 研究成果のメディア掲載人数 20名
- (5) 大学院生の国際学会発表 100件以上

## <Ⅲ. 社会貢献>

### 1. 社会貢献事業の継続的展開

- 1.1 新宿区、八王子市、その他地方公共団体との連携事業の推進

- 1.2 大学コンソーシアム八王子を活用した地域貢献

## <Ⅳ. 国際化>

### ◆大学・大学院

#### 1. 学生の国際化の推進

- 1.1 大学院における留学生受け入れ・送り出しの拡大
- 1.2 国際化推進のための協定校開拓と交流活性化

### [重要経営指標]

- (1) ハイブリッド留学の参加者 100名
- (2) 日本留学プログラムにおける協定校からの受け入れ 50名

### ◆附属中高

#### 1. 国際交流の推進

- 1.1 留学生・帰国生徒の受け入れの拡大
- 1.2 長期留学制度の充実
- 1.3 ホームステイによる国際交流の強化と高校生のホームステイの拡大
- 1.4 海外留学の計画と実施および異文化体験

### [重要経営指標]

- (1) 2018年度留学生・帰国生の受け入れ 40名以上
- (2) 2017年度海外留学者の割合 15%

### ◆学園全体

#### 1. 中長期的な国際化の展開

- 1.1 アジア大学ランキング トップ200に向けた施策の強化
- 1.2 海外への情報発信力の強化
- 1.3 国際化対応体制の整備

#### 2. 教職員の国際化の推進

- 2.1 留学生の量的拡大を見据えた教職員の能力向上
- 2.2 外国人教職員の採用拡大

## <Ⅴ. 学園運営>

### ◆学園全体

#### 1. 学園ブランドの強化

- 1.1 選ばれる大学・附属中高としての「工学院大学」ブランドの確立
- 1.2 よりよい学習・研究環境に向けた施設設備の整理と活用
- 1.3 卒業生ネットワークの強化に向けた仕組みづくり
- 1.4 130周年事業の実施

#### 2. 業務改革の推進

- 2.1 ICTを活用した業務の簡素・合理化・標準化
- 2.2 キャンパス内外の「安心・安全」（セキュリティ）の確保と強化
- 2.3 キャンパス有効利用の方針確定

#### 3. 教職員の人事政策の確立

- 3.1 教職員の育成と活用（SDの推進）

- 3.2 経営環境を見据えた教職員数の中期計画の遂行

#### 4. 財務体質の強化

- 4.1 財務方針（中期計画）を踏まえた事業の取捨選択
- 4.2 適正な入学定員と入学者による収入の確保

#### 5. 寄附行為改正を踏まえた学園の運営体制の強化

- 5.1 学園組織運営基盤の更なる強化
- 5.2 学部運営体制の整備

#### 6. コンパス2017の総括と次期中期計画の策定

- 6.1 コンパス2017の総括と次期中期計画の策定